

今年度JAあきた白神管内で行った除草剤試験の紹介

1、ベンケイ豆つぶ250

●特長

- ・新規有効成分「フェノキサスルホン」により、ノビエ及び一年生広葉雑草（コナギ・アゼナ類など）に対して高い効果と長期の残効性を示します。
- ・SU剤抵抗性のイヌホタルイに卓効を示し、畦畔からの侵入雑草（イボクサやアシカキ）を抑制します。
- ・10アールあたり250gと軽量で、まきむらを気にせず楽にまける豆つぶ製剤です。

●このような方にお勧めです

- ・今年圃場内にノビエやホタルイが残草し、カメムシ被害があった方。
- ・動噴による粒剤散布、フロアブル剤など本田や畦畔を歩き回りながら散布するのが困難な方。

●試験結果について

- ・管内3ヶ所で試験したが、どの圃場も好結果であり平成30年度肥料・農薬注文書に採用しました。また、斑点米カメムシを誘発するホタルイに対しても効果が高く斑点米のリスクも低くなりました。



(5月20日田植、5月30日散布、7月20日撮影)

2、レブラス1キロ粒剤（中期剤）

●特長

- ・除草成分「アルテア」を増量配合！殺草力をアップさせました。（アルテアの薬量を12g/10aにアップしています）
- ・4つの優れた除草成分を合理的に配合しています。（残草しやすいホタルイ、クログワイ、ノビエ、オモダカに強い成分を混合しています）
- ・「テフリルトリオン（AVH-301）」「ジメタメトリン」が相乗的に作用します。（2つの成分が相乗的に作用し、ホタルイやコナギなどをより確実に枯らします）
- ・しかも、落水せずに散布することができます。

●このような方にお勧めです。

- ・毎年一発除草剤を使用しても雑草をとりこぼす方。
- ・一発除草剤の代わりに初期剤と体系処理をしたい方。

●試験結果について

- ・大区画圃場（1ha）で試験したが、管内で問題になっているホタルイ、シズイなど幅広い草種の水田雑草に対して優れた効果が見られました。また、翌年発生するクログワイの塊茎形成も抑制しておりました。



(5月14日田植、5月29日散布、7月3日撮影)

※詳しい使用方法については、平成30年度肥料・農薬商品説明書をご覧ください。

